

三豊市空家等実態調査 結果報告書

平成29年3月

1. 空家等実態調査

(1) 調査準備

● 建築物の老朽度のランク分け

空家の建築物の老朽度を示すために、以下の2通りのランク分け方法を決定した。

①合計点によるランク分け

前出の不良度判定の評点の合計点に応じてI～IVの4段階でランク分けした。

(I ランク0～19点、II ランク20～39点、III ランク40～99点、IV ランク100点以上)

②調査員の主観によるランク分け

現地にて空家の調査を行った調査員が、実際の空家の見た目を基に、空家の全体感を相対的に評価（主観）してI～IVの4段階でランク分けした。

不良度判定の評定項目において、目視できず評点が付けられないなど、実際の不良度より低い合計点になったと思われる空家が有り、合計点による老朽度のランク分けにおいても影響があるため、補完する意味も含めて、②の調査員の主観によるランク分けを同時に行つた。

○建築物の老朽度のランク

ランク	評定内容
I	小規模の修繕により再利用が可能
II	管理が行き届いていないが、当面の危険性は少ない
III	管理が行き届いておらず、損傷が激しい
IV	倒壊の危険性があり、修繕や解体などの緊急度が高い

1. 空家等実態調査

(1) 調査準備

● 建築物の周囲に対する危険度のランク分け

空家が倒壊した場合、周囲に対して危険が及ぶ可能性についてランク分けした。

建築物の倒壊時、周囲に危険を及ぼす距離は、[注1](#)1階建ての建物は3m、2階建ての建物は5mと決定した。

以下の表のとおり、3段階の判定を行った。

○建築物の周囲に対する危険度のランク

ランク	評定内容
I	倒壊した場合でも、隣家及び公道を通行する人・車両に危険を及ぼす可能性が無い
II	倒壊した場合に、隣家または公道を通行する人・車両に危険を及ぼす可能性がある
III	倒壊した場合に、指定避難所やその敷地、主要道路（国道・県道）、鉄道・駅に危険を及ぼす可能性がある

[注1](#)：国土交通省（地方公共団体における空家調査の手引き）の基準による

● 建築物の老朽度・危険度のランク分け

建築物の老朽度と危険度を同時に把握できるように、⑤建築物の老朽度のランク分けと、⑥建築物の周囲に対する危険度のランク分けの結果を踏まえて、別途「建築物の老朽度・危険度ランク」を作成、A～Eの5段階でランク分けを行った。

老朽度ランク	周囲に対する危険度ランク	建築物の老朽度・危険度ランク
I		⇒ A
II		⇒ B
III		⇒ C
IV + I		⇒ D
IV + II または III		⇒ E

Aランク	：小規模の修繕により再利用が可能
Bランク	：管理が行き届いていないが、当面の危険性は少ない
Cランク	：管理が行き届いておらず、損傷が激しい
Dランク	：倒壊の危険性があるが、周辺に影響を及ぼさない
Eランク	：倒壊の危険性があり、周辺に影響を及ぼすおそれがある

2. 調査結果の集計概要

(1) 調査結果の全体概要

調査結果の全体概要を説明するに当たり

三豊市全域の家屋に対し、外観目視による調査で空家と思われる対象を選出した2,463件に対して再度調査判定を行った。

現地での再調査で空家と判断できた対象が1,998件、空家と思われるが建物に近寄ることができず、周囲の垣等や雑草の繁茂等により判定が出来なかつたものが30件（以後「判定不可」と表する。）、市が管理する公営住宅や、再調査時に居住者がいたり、既に建物が取り壊され更地になっているなど空家ではないものが435件（以後「判定対象外」と表する。）であった。

以後、当報告書内では不良度判定のできた1,998件を空家件数とする。

□空家と思われる対象件数
(外観目視による調査で空家
と思われる対象件数)

□空家件数

空家
(外観目視・不良度判定・写真撮影実施)
1,998件

: 2,463件

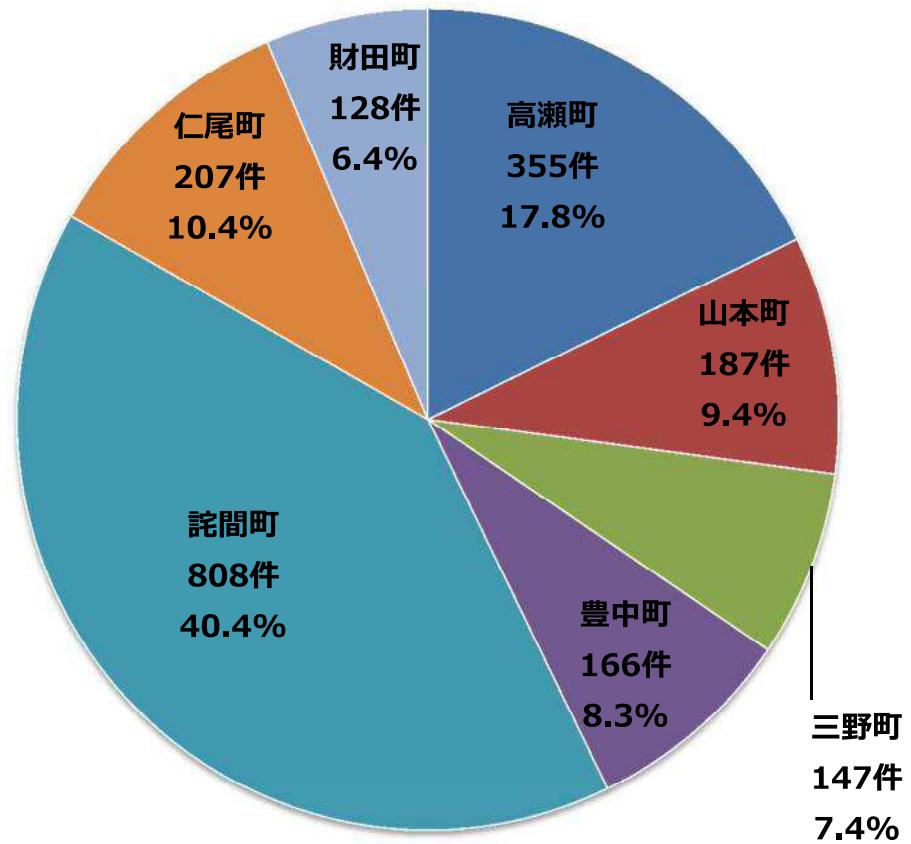
判定不可
30件

判定対象外
435件

2. 調査結果の集計概要

(2) 三豊市全体空家件数

三豊市： 空家件数 1,998件

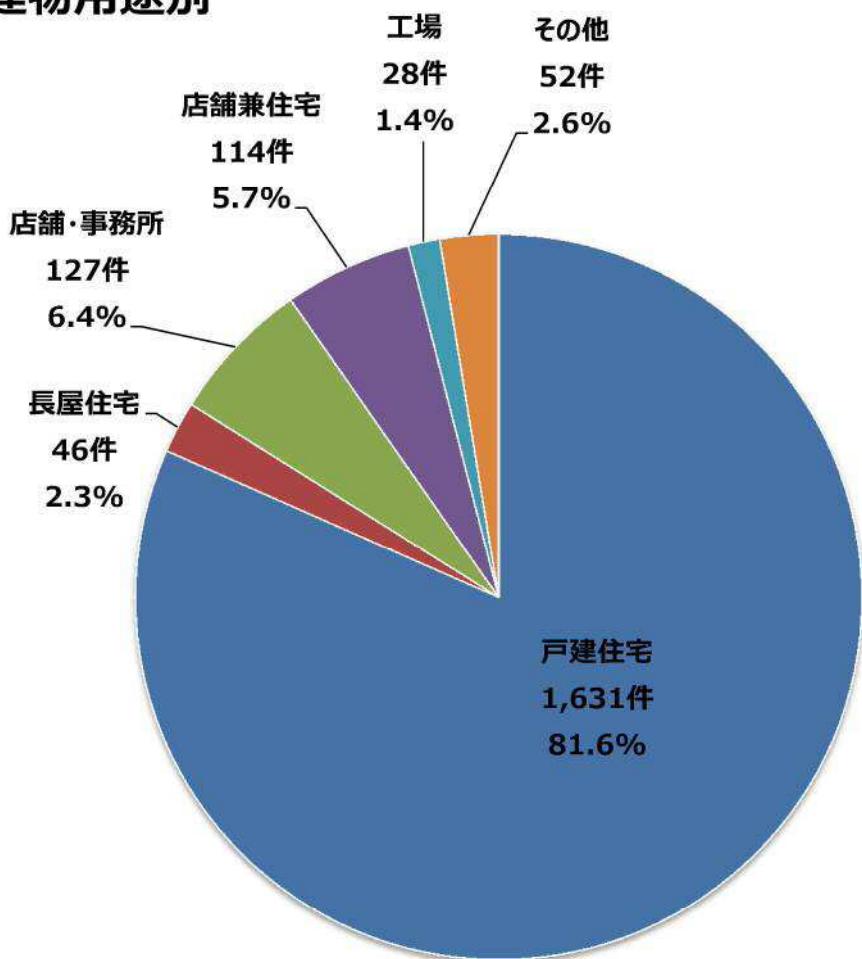


2. 調査結果の集計概要

(3) 建物用途別に見た空家件数（三豊市全体）

調査の結果、空家件数1,998件の内、戸建住宅が1,631件、長屋住宅46件、店舗・事務所127件、店舗兼住宅114件、工場28件、^{注1}その他52件であった。

建物用途別

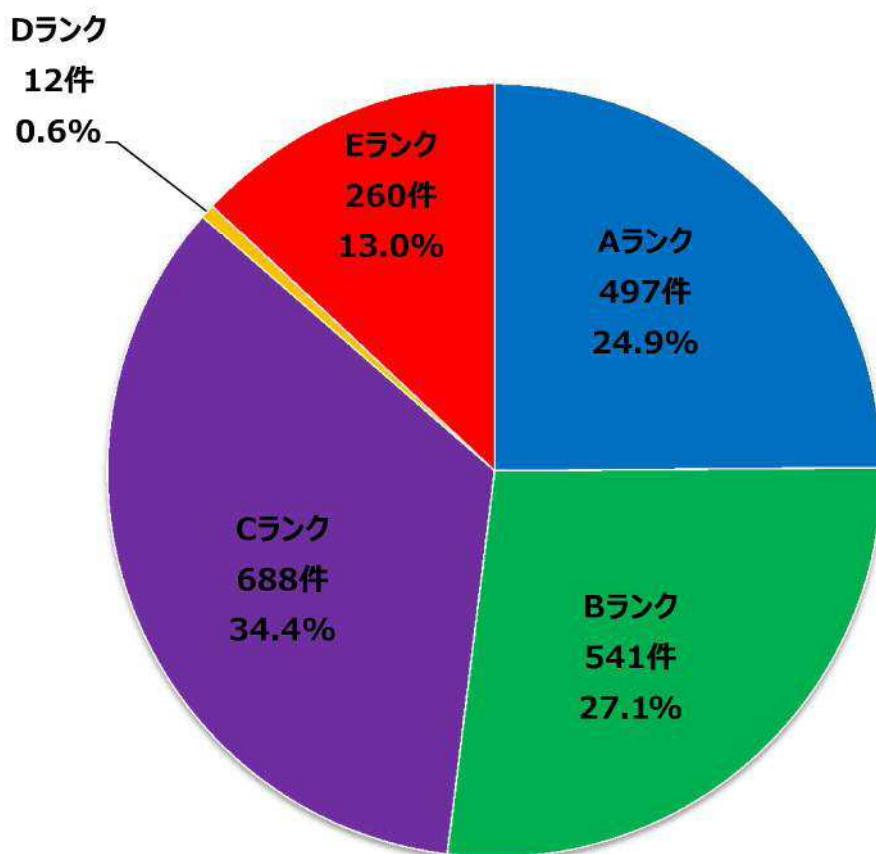


^{注1}…その他：プレハブなど、用途不明な建物

2. 調査結果の集計概要

(4) 老朽度・危険度ランク別に見た空家件数

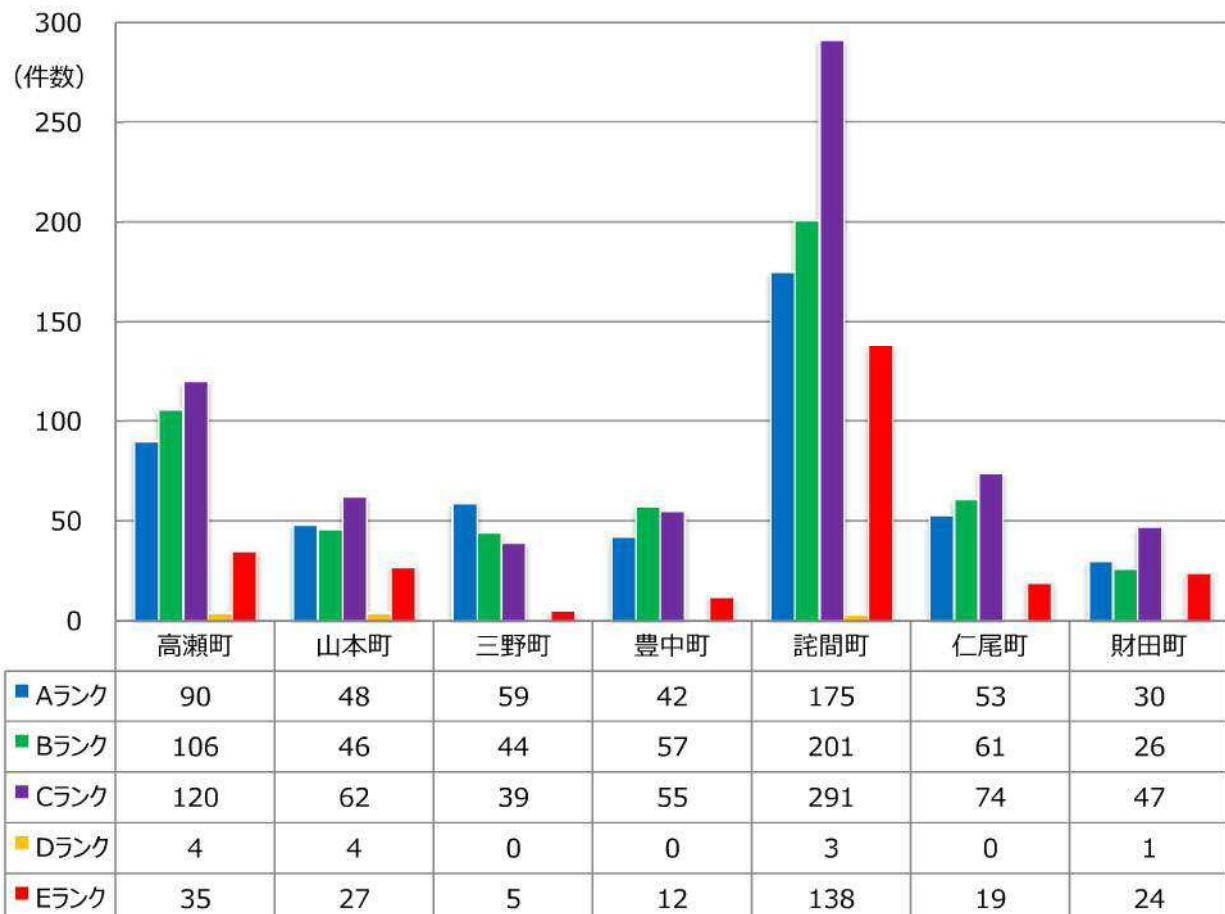
三豊市全体：空家件数 1,998件



- A 小規模の修繕により再利用が可能
- B 管理が行き届いていないが、当面の危険性は少ない
- C 管理が行き届いておらず、損傷が激しい
- D 倒壊の危険性があるが、周辺に影響を及ぼさない
- E 倒壊の危険性があり、周辺に影響を及ぼすおそれがある

2. 調査結果の集計概要

(4) 老朽度・危険度ランク別に見た空家件数（地区別）

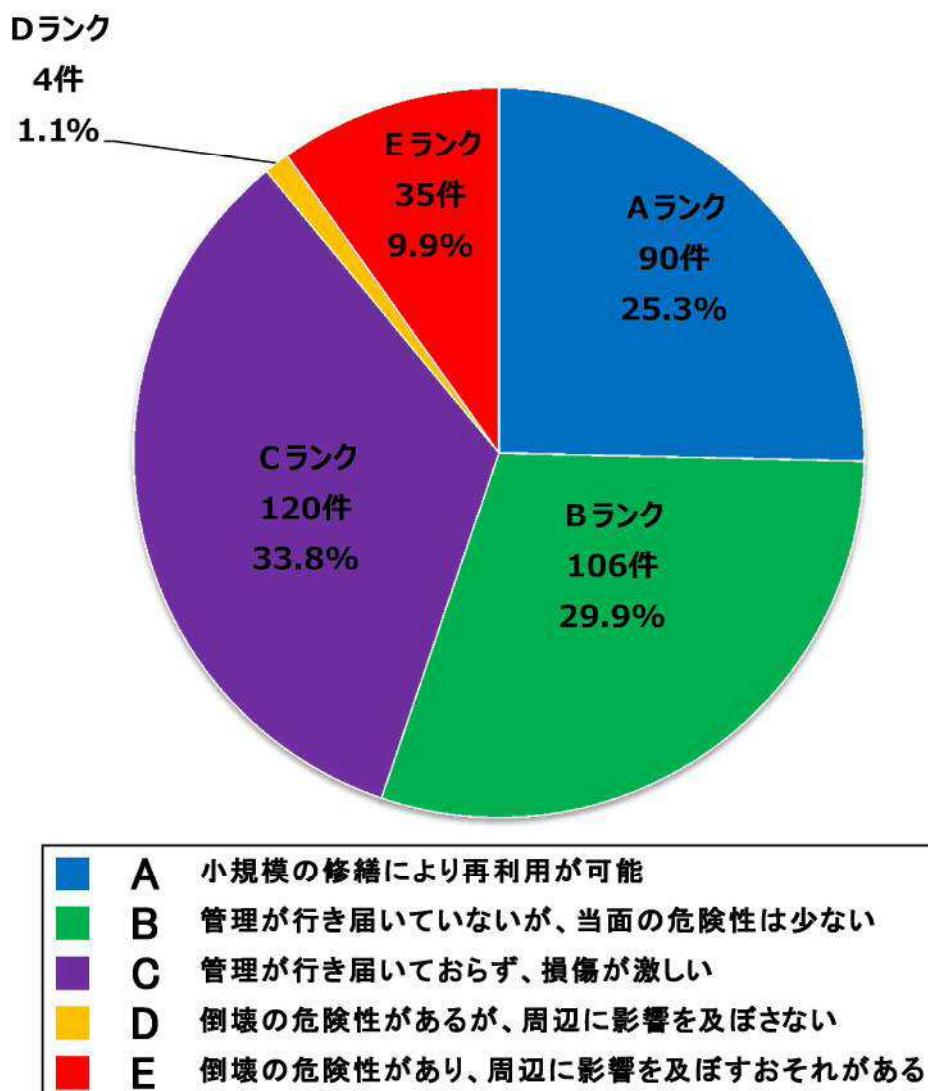


- A 小規模の修繕により再利用が可能
- B 管理が行き届いていないが、当面の危険性は少ない
- C 管理が行き届いておらず、損傷が激しい
- D 倒壊の危険性があるが、周辺に影響を及ぼさない
- E 倒壊の危険性があり、周辺に影響を及ぼすおそれがある

2. 調査結果の集計概要

(4) 老朽度・危険度ランク別に見た空家件数

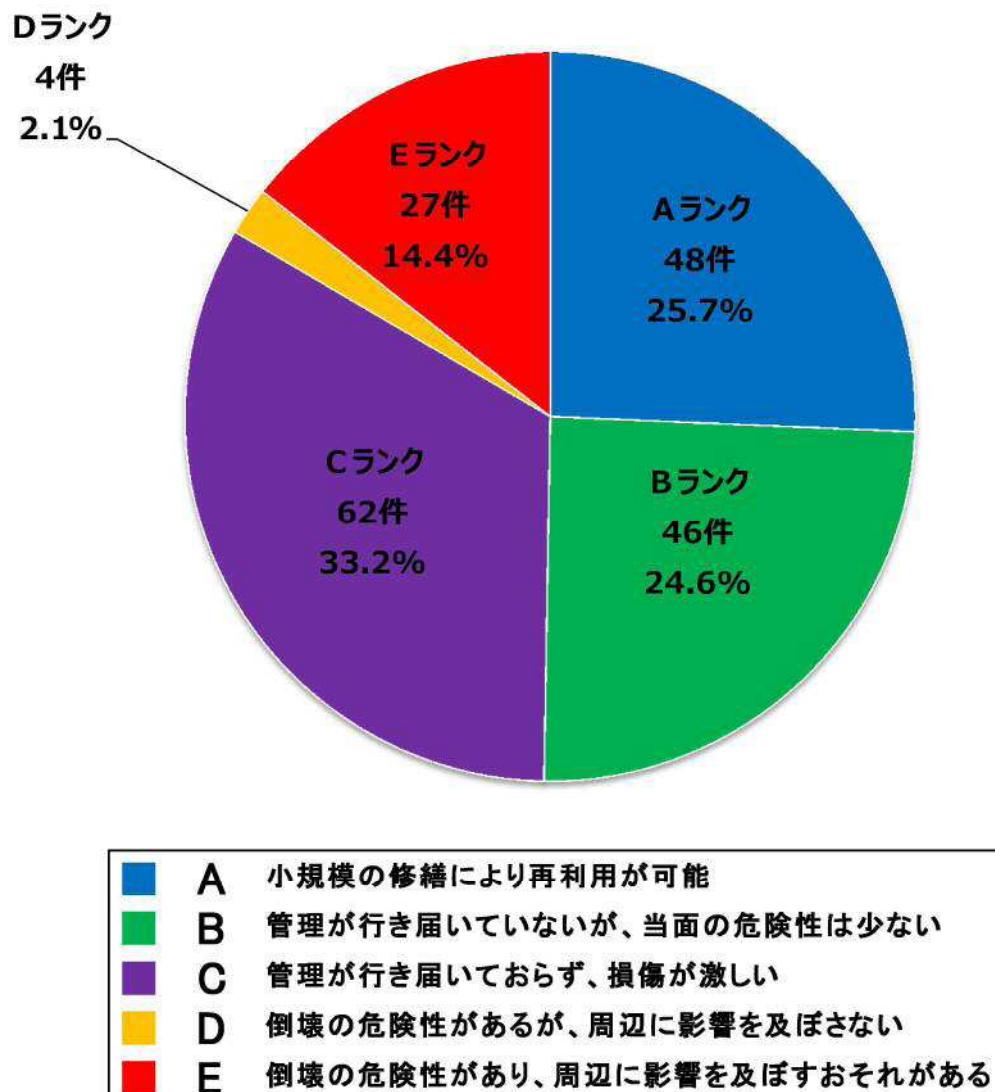
高瀬町：空家件数 355件



2. 調査結果の集計概要

(4) 老朽度・危険度ランク別に見た空家件数

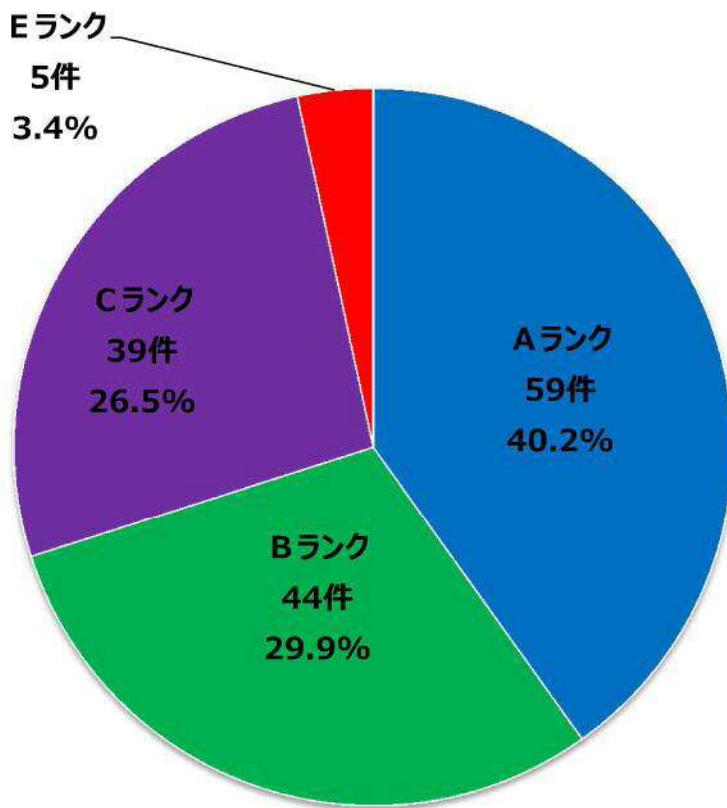
山本町：空家件数 187件



2. 調査結果の集計概要

(4) 老朽度・危険度ランク別に見た空家件数

三野町：空家件数 147件

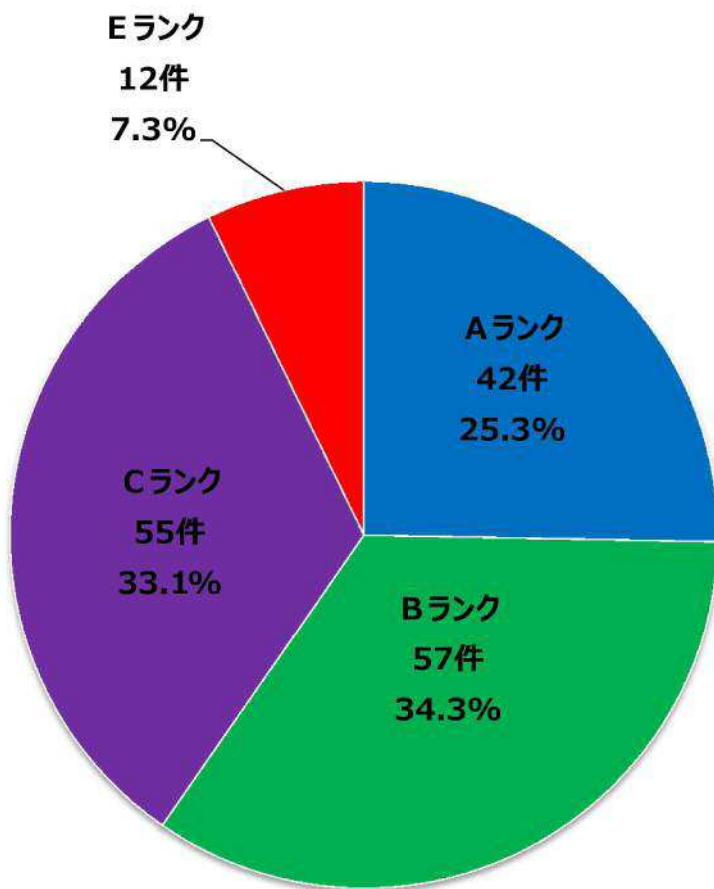


■	A 小規模の修繕により再利用が可能
■	B 管理が行き届いていないが、当面の危険性は少ない
■	C 管理が行き届いておらず、損傷が激しい
■	D 倒壊の危険性があるが、周辺に影響を及ぼさない
■	E 倒壊の危険性があり、周辺に影響を及ぼすおそれがある

2. 調査結果の集計概要

(4) 老朽度・危険度ランク別に見た空家件数

豊中町：空家件数 166件

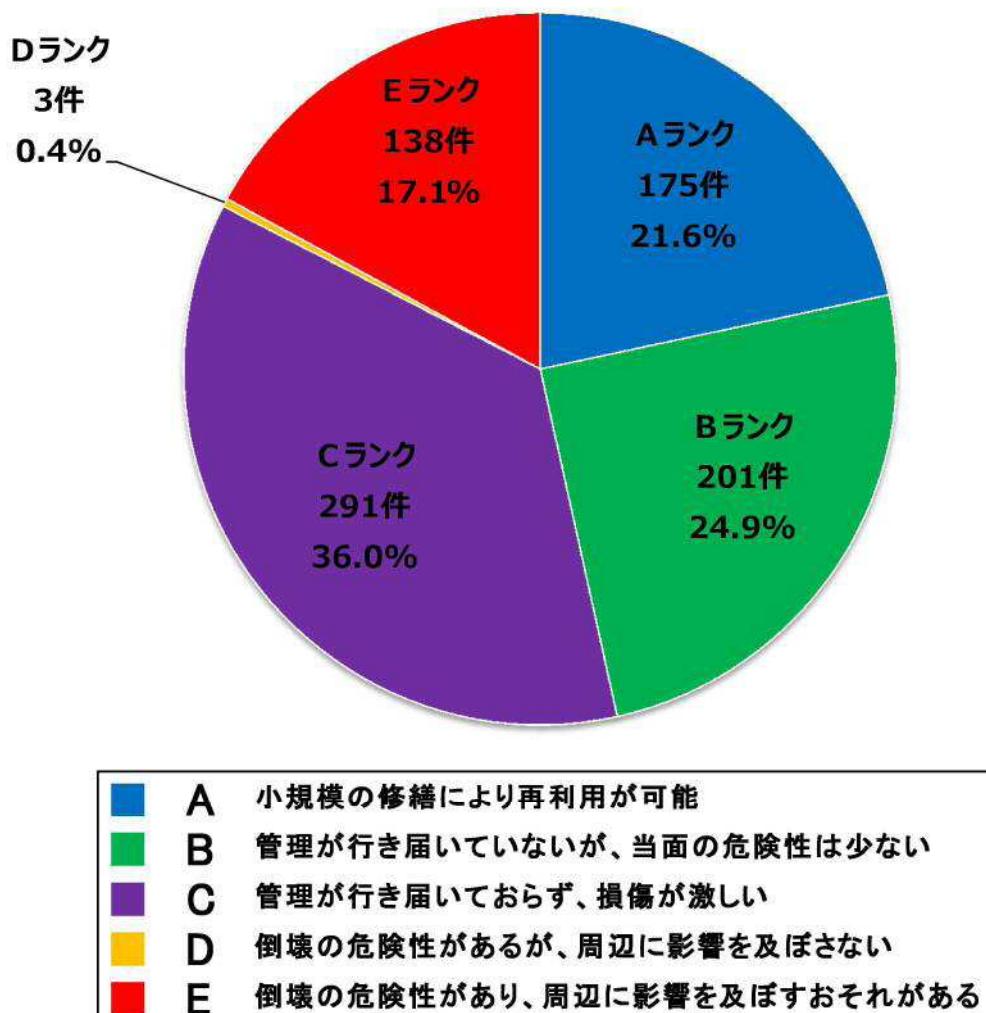


- A 小規模の修繕により再利用が可能
- B 管理が行き届いていないが、当面の危険性は少ない
- C 管理が行き届いておらず、損傷が激しい
- D 倒壊の危険性があるが、周辺に影響を及ぼさない
- E 倒壊の危険性があり、周辺に影響を及ぼすおそれがある

2. 調査結果の集計概要

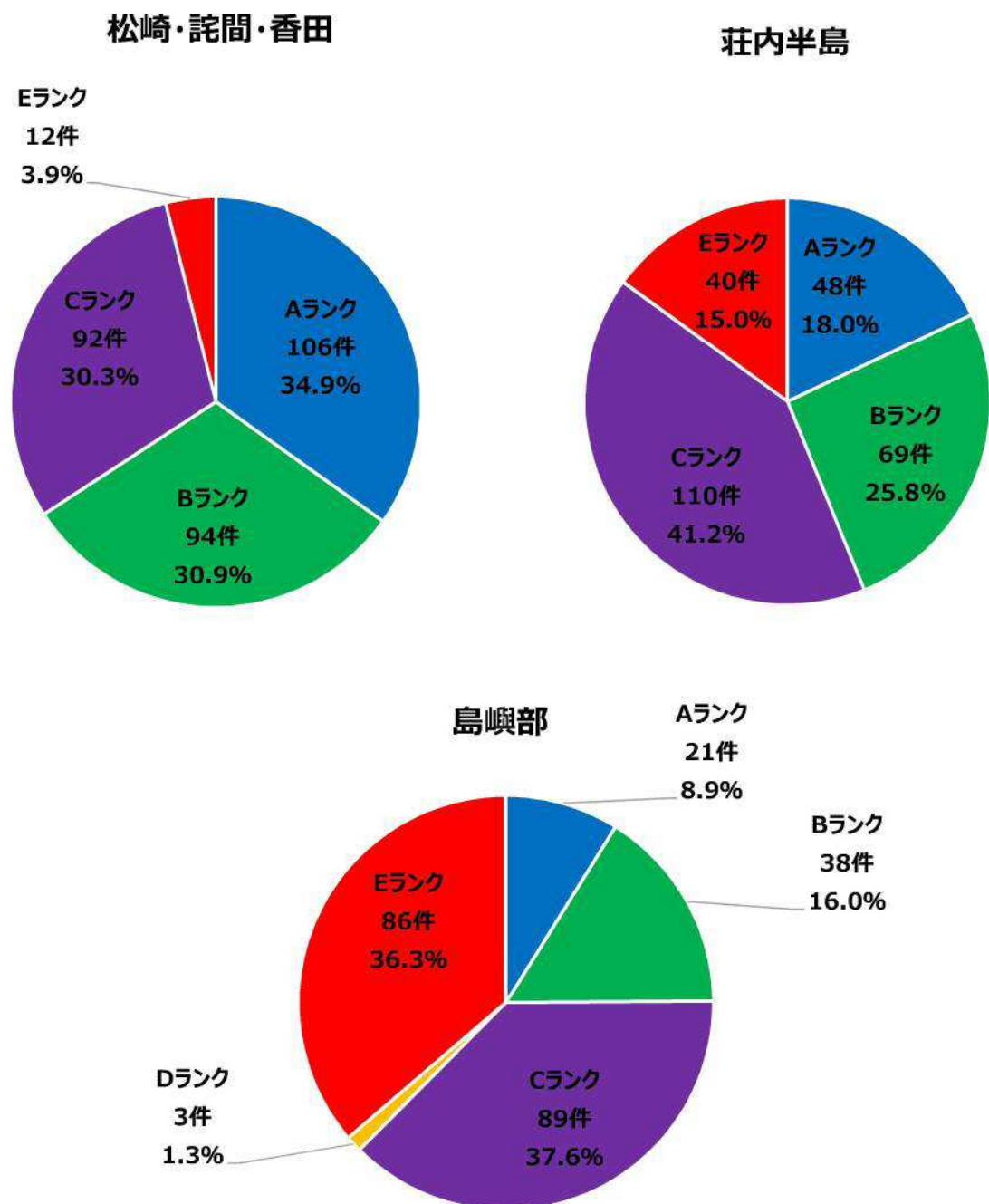
(4) 老朽度・危険度ランク別に見た空家件数

詫間町：空家件数 808件



2. 調査結果の集計概要

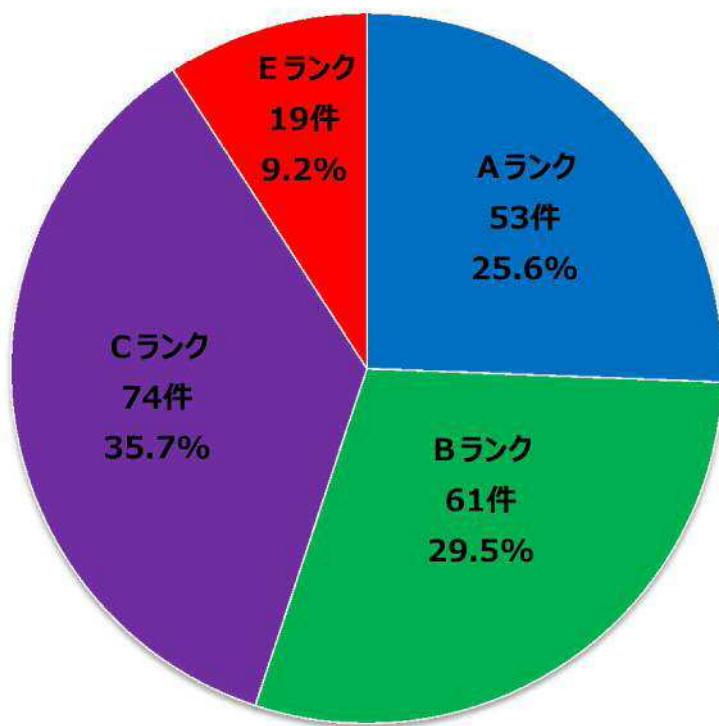
(4) 老朽度・危険度ランク別に見た空家件数（詫間町内訳）



2. 調査結果の集計概要

(4) 老朽度・危険度ランク別に見た空家件数

仁尾町：空家件数 207件



- A 小規模の修繕により再利用が可能
- B 管理が行き届いていないが、当面の危険性は少ない
- C 管理が行き届いておらず、損傷が激しい
- D 倒壊の危険性があるが、周辺に影響を及ぼさない
- E 倒壊の危険性があり、周辺に影響を及ぼすおそれがある

2. 調査結果の集計概要

(4) 老朽度・危険度ランク別に見た空家件数

財田町：空家件数 128件

